

11月1日から中央区新型コロナワクチンコールセンター開設時間を変更します

変更前

午前9時～午後9時

変更後

午前9時～午後6時

◎開設曜日に変更はありません。

☑中央区新型コロナワクチンコールセンター

☎(0120)421062



▲新型コロナワクチン接種特設サイト

第29回中央区国際交流のつどい 29th Chuo City International Exchange Party

外国の方と日本の方の交流を深める楽しいイベントです。ぜひご参加ください。We'll hold this event to deepen mutual exchanges between Japanese and non-Japanese. Why don't you come and join us?

日 時：11月18日(土)正午～午後4時

Date & Time : Sat. Nov. 18, 12:00-16:00

会 場：築地社会教育会館

Venue : Tsukiji Shakai Kyoiku Kaikan(Tsukiji Social Education Center)

主な内容 Events

- 和服の着付け(外国の方のみ) Kimono Etiquette(Non-Japanese only)
- 呈茶・茶道 Tea Ceremony and Matcha Making
- 生け花 Flower Arrangement
- 長唄三味線 Shamisen
- 水引細工 Mizuhiki Workshop
- 折り紙 Origami
- 和太鼓 Taiko(Japanese Drum) Workshop
- 盆踊り Bon Dance
- 日本の遊び・外国の遊び Japanese Games & Foreign Games
- サリーの着付け How to put on a Sri Lankan Sari
- 日本の料理とミルクティーの試食 Tasting of Japanese Foods & Sri Lanka Milk Tea
- 防災コーナー Disaster Preparedness



問い合わせ先 Contact

中央区文化・国際交流振興協会

Chuo Cultural and International Exchange Association

TEL : 03-3297-0251

文化・国際交流振興協会(CCIEA)HP



トピックス



第71回中央区観光商業まつり

10月2日、「第71回中央区観光商業まつり」がスタートしました。11月12日までの期間中、商店街などがハロウィンを共通テーマに装飾などを行う「ハッピーハロウィンウィーク」、区内飲食店などによる物産展「東京まん真ん中 味と匠の大中央区展」などのイベントや各地域で恒例の協賛行事などが行われます。

オープニングセレモニーでは、弦楽四重奏の演奏が披露された他、先着でオリジナル手拭いが手渡され多くの方でにぎわいました。



中央区まるごと 第16回 ミュージアム2023

めぐる 楽しむ 好きになる

11月5日(日)開催

名所・旧跡をはじめ、画廊・美術館、水辺など豊かな文化環境に恵まれている中央区。パンフレットを手に区内を巡り、中央区の持つ文化を隅々まで堪能してみたいかたがでしょうか。当日は、区内を循環する無料の貸し切りバス(バスガイドボランティアが同乗し、区内を案内します)を運行するとともに、中央区コミュニティバス「江戸バス」も無料で乗車できます。◎詳しくは、区施設などで配布しているパンフレットまたはまるごとミュージアムHPをご覧ください

さい。
◎雨天などにより一部内容が変更、中止となる場合があります。

船の運航(事前申し込みは終了しました)

乗船券をお持ちの方が乗船できます。

スタンプラリーの実施

スタンプラリー参加者の応募による抽選を行い、後日、当選者に景品を郵送します。

☎文化・生涯学習課文化振興係 (3546)5346



▲まるごとミュージアムHP

凡例 問い合わせ(申込)先 HP ホームページ Eメールアドレス ※費用の記載がないものは無料

区のおしらせ ちゅうおう



区の公式 SNS など



区内の文化財

一石橋迷子しらせ石標

都指定有形文化財 歴史資料 八重洲一丁目11番先

中央区の北に位置する神田川は、台東区との区境である左衛門橋から浅草橋を経て隅田川河口の柳橋まで約500メートルの区域を流れています。なお、左衛門橋から先の神田川水系をさかのぼって行くと、最終的に三鷹市(井の頭池)の水源に至ります(延長約25km)。

一方、中央区内を横断して蛇行するように流れる日本橋川は、「日本橋」を冠しているため、一石橋から西河岸橋・日本橋・江戸橋を経て、鎧橋・茅場橋・湊橋の下を流れて隅田川河口の豊海橋に至る河川だと思いがちです。しかし、現在は一石橋先の上流から河川名が変わることなく、千代田区との区境に架かる3つの「ときわばし」(常盤橋(大正15年架橋)・常磐橋(明治10年架橋)・新常盤橋(昭和

63年改架))を経て北西方向へとさかのぼり、三崎橋(千代田区三崎町)先の神田川に合流するまでが日本橋川となっています(延長約4.8km)。

ちなみに、昭和39年(1964)の河川法改正前までは、三崎橋から一石橋までの堀川を外堀(外堀川)と称しており、さらに昭和20年代の埋め立て前までは一石橋の南西方向(現在の外堀通りに沿って西側)にも外堀川が流れていました。

特に、江戸時代の一石橋は、江戸城の外堀と日本橋川との分流点に位置していたため、橋上からの眺めも素晴らしく八つの橋(同橋を含めて日本橋・江戸橋・常磐橋・呉服橋・鍛冶橋・銭瓶橋・道三橋)を眼中に収め得る橋としても知られていました。他方で、一石橋はすぐ東に人々の往来が激しい日本橋が架かり、江戸を代表する大店が軒を連ねる東海道沿いの通一丁目(現在の日本橋一丁目)などの繁華街にも近い場所でもありました。今回の文化財は、こうした一石橋の地理的・地域的特性を物語る江戸時代の石標です。

一石橋南西の橋詰に立つ「一石橋迷子しらせ石標」は、読んでその名が示す通り、迷子(尋ね人)を

知らせる告知用に建てられました。正面には「満よひ子の志るべ(当初は朱を入れた文字)」と陰刻(下部の「不」字形記号は明治期の凡号水準点)された花崗岩製の角柱(高さ約161cm・幅約36cm・奥行き約34.5cm)で、台石(高さ約13cm・幅約70cm・奥行き約69cm)上に据えられています。向かって右側面に「志らす類方」と左側面に「たづぬる方」の陰刻を施し、各側面上部には庇(縦約4.5cm・横約26.5cm・奥行き約2cm)を付けた方形のくぼみ(縦約30.5cm・横約22.5cm・深さ約2.5cm)が設けられています。さらに、裏面には「安政四丁巳年二月 御願濟建之 西河岸町」と陰刻されており、『撰要永久録』(町名主高野家の記録)などから西河岸町(現在の八重洲・日本橋各一丁目)の家主17人の惣代・重兵衛(他に喜八・傳兵衛の2名)が石標建立の願書を南町奉行所に提出・許可され、安政4年(1857)2月に建立したことが判明しています。

また、願書によれば、たづぬる方には迷子の親が「迷子の詳細(名前・年頃・面体・格好・衣類・家主の名前・町名)」を記した紙を貼り置き、しらする方には迷子を留め置く町内から「町名・迷子の名



一石橋迷子しらせ石標

前・年頃・面体」などを記した紙を貼り置いたとあります。情報網が発達していない江戸時代には、親が子を見失って迷子になったら最後、生き別れになることも少なくありませんでした。そして、町内で迷子と分かれば月行事(月交代の町政当番)が責任をもって保護し、親に引き渡すまで町入用から出費して町内で養育する必要がありました。

なお、西河岸町の建立願書には「迷子の儀兎角所在不相分町内之厄介ニ相成候も有之不便ニ付」の一文が記されており、増え続ける迷子とその保護に苦慮している町の様子が伝わってきます。

中央区教育委員会 学芸員 増山一成

(6) 「区のおしらせ ちゅうおう」は区役所、特別出張所、区民館などの区施設、コミュニティバス、区内公衆浴場、一部金融機関、百貨店、ファミリーマート(一部店舗を除く)、都営地下鉄の駅(東銀座・宝町・築地市場・日本橋・人形町・東日本橋・馬喰横山・浜町・勝どき・月島)、東京メトロの駅(京橋・銀座・東銀座・新富町・築地・八丁堀・三越前・日本橋・人形町・茅場町・小伝馬町・水天宮前・月島)、JRの駅(新日本橋・馬喰町)、文化堂でも配布しています。